

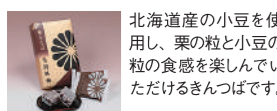
散策の途中にひと休み。
食事やおみやげ選びを楽しめます

楠公レストハウス



散策途中にひと休みをしたり、食事を楽しめるレストハウス。広々とした飲食スペースでは、皇居ならではの食事を楽しめます。売店も併設されていて、皇居散策の記念にしたいオリジナルのお土産品が見つかります。

皇居外苑 栗きんつば

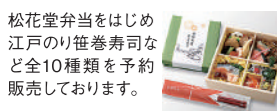


江戸エコ行楽重 与の重(要予約)



東京近郊の食材や調味料を使い江戸時代の料理を再現したお重です。

皇居外苑弁当



本日の一汁三菜御膳(日替り)ドリンクバー付

日本食伝統の一汁三菜と主菜がセットになった日替わりランチです。



■楠公レストハウス DATA

【営業時間】8:30~17:00 (食事は11:00~14:00)

【定休日】12月29日~1月1日 【お問い合わせ】03-3231-0878

■楠公レストハウス売店 DATA

【営業時間】8:30~16:00 【定休日】無休 【お問い合わせ】03-3211-1056

楠木茶房



皇居外苑のシンボルである、黒松林と広大な緑の芝生の中にそびえる楠木正成の騎馬像。その横に、「楠木茶房」があります。



金箔バナソフ

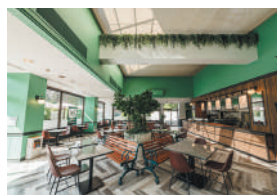
厳選された金箔を使用したソフトは大人気です。

■楠木茶房 DATA

【営業時間】9:00~16:00

【定休日】無休 (年末年始を除く)

北の丸レストハウス



施設内店舗 CAFÉ33 では自家製サンドイッチやローマ発祥の「ピッツァアルタリオ」をはじめ、季節のフルーツを使ったタルトなど、本場イタリアの味わい深い豊富なラインナップをお楽しみいただけます。



「ピッツァアルタリオ」は、自家製生地を使い、毎日施設内店舗で焼き上げるCAFÉ33の看板商品です。

■北の丸レストハウス DATA

【営業時間】9:00~17:00

【定休日】無休 (北の丸公園に準ずる)

【お問い合わせ】03-3214-3730

セミナー・観覧会などのイベントを開催

皇居の歴史や自然をめぐる散策セミナーや、昆虫観覧会など、年間を通してさまざまなイベントを開催しています。開催情報はホームページをご覧ください。

<http://www.fng.or.jp/koukyo/category/event>

【お問い合わせ】



(一財) 国民公園協会 皇居外苑

東京都千代田区皇居外苑1番1号 TEL03-3231-5509

<http://fng.or.jp/koukyo>

協力/宮内庁・環境省皇居外苑管理事務所

2023.07

公式SNSはこちらから



皇居周辺の魅力を発見

皇居外苑・東御苑・北の丸公園には、四季折々で表情が変わる見どころが、たくさんあります。ぜひ、自分歩きマップを持って散策してみましょう。訪れたスポットには、自分のお気に入りの数だけ星を塗りつぶして記録してみてください。

二重構造の木橋が始まり

1 二重橋 にじゅうばし



二重橋は、2つある橋の奥にある「皇居正門鉄橋」のことをいいます。「皇居正門鉄橋」は、1614(慶長19)年に二重構造(木造)だったことが名前の由来。現在の橋は、昭和の新宮殿造営に先立ってかけ替えられたものです。

最大な城門として残る

2 桜田門 さくらだもん



1636(寛永13)年に修築され、現存する城門の中では一番大きなもの。関東大震災で破損し、鉄網土蔵造りに改修されました。門の周辺で起きた「桜田門外の変」は、余りにも有名。国の重要文化財に指定されています。

歴史のある像は一見の価値あり

3 楠木正成像 くのきまさしげぞう



建武中興の忠臣・楠木正成(楠公)の銅像で、この姿は楠木正成公が1333(正慶2)年に、隠岐の島から還幸途次の後醍醐帝を兵庫でお迎えしたときのものです。別子銅山の銅を使い、高村光雲らが10年の歳月をかけて完成させました。

江戸城の正門だった貴重な門

4 大手門 おおてもん



江戸時代には「本丸大手門」と呼ばれ、江戸城の正門として、多くの大名や武士たちが出入りをしていました。門内に入ってすぐのところに、渡櫓の屋根を飾っていた鯨(シャチ)があり、門壁には鉄砲窓も残されています。

江戸城最大の検問所跡

5 百人番所 ひやくにんばんしょ



大手三の門横の左手にある、長さ50mほどもある江戸城最大の検問所跡。根来組、伊賀組、甲賀組、廿五騎組の4組が交代で詰めていて護衛にあたっていました。常に同心が100人いたことから、百人番所と呼ばれるようになったのです。

国内で最も大きな天守閣

6 江戸城天守閣跡 えどじょうてんしゅかくあと



1607(慶長12)年、二代将軍秀忠の時代に完成し、さらに1638(寛永15)年、三代将軍家光の時代に、地上58mの高さを誇る国内最大の天守閣が誕生しました。江戸幕府の権威の象徴ともいわれていたものです。

天守閣の背後に位置する桔橋

7 北桔橋門 きたはねばしもん



北桔橋門は天守閣の背後にあり、当時は警備がとて厳しく、この周辺の石垣が一番高いことが重要さを物語っています。橋は水面より高い位置にあり桔橋(はねばし)になっていて、周辺の石垣は野面積みと算木積みで強固です。

唯一江戸時代のまま現存する木橋

8 平川橋 ひらかわばし



大奥への通用門となっていた美しいその太鼓型・木橋で、和田倉橋とともに、江戸時代の面影を残す橋の一つです。橋の高欄には、慶長・寛永期刻印の擬宝珠が見られます。

文武二忠臣の象徴像

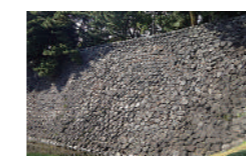
9 和気清麻呂像 わけのきよまさるぞう



光仁・桓武天皇が信頼を寄せ、平安遷都の推進、造都において活躍した和気清麻呂。奈良朝末期の延臣で藤原仲麻呂の乱で765(天智神護1)年に右兵衛尉となり信任を得ました。楠木公銅像と文武の二忠臣を象徴した像です。

石垣を見てみよう

注目ポイント ひと言で石垣といっても、その積み方はさまざま。注意してみると、先人たちの知恵を使った多くの工夫点が発見できます。



高石垣 たかいしがき

本丸を取り囲むスケールの大きさは城の重要性を強く表し、見る者を圧倒します。築城の名手と呼ばれる、加藤清正や藤堂高虎などによって築かれたと考えられています。



算木積み さんぎつみ

石垣の出隅部分に使われる工法で、直方体に加工した石の長辺と短辺を、交互に積み重ねて強度を保っています。皇居では、石垣が直角になっている部分で見られます。



土塁式 どるいせき

三段構造で、一段目に腰巻石垣、二段目に腹巻土塁があり、天端は3m前後の平坦部、三段目は約3mの鉢巻石垣になっています。皇居では西側で見られます。

※画像は(一財)国民公園協会所蔵のものを使用しており、解説は平馬 正著『皇居の四季花物語』を参考にしています。

皇居外苑・東御苑・北の丸公園

自分歩きマップ

国民公園協会

情報を持って手軽におさんぽ
“皇居外苑散策アプリ”



Android

iOS

皇居外苑・東御苑・北の丸公園

自分歩きマップ

皇居でぜひ見ておきたい史跡や、特に見逃せないポイントをご紹介します。とっておきの撮影スポットなので、お見逃しなく！また、自分が訪れたスポットの星にチェックを入れて、自分だけのお気に入りマップを完成させてください。

皇居周辺 とっておきビュースポット

- 01** オフィス街の夜景に感嘆 **桜田濠の夜景**



半蔵門からお濠沿いに坂道を下ると、眼下に丸の内オフィス街の夜景が見えます。三宅坂交差点〜国会前交差点辺りがベストビュー。 **MAP 1**
- 02** 江戸情緒と近代建築 **桜田門と国会議事堂**



桜田門に入り、門の斜め右前に進んで後ろを振り返ると、桜田門の間から国会議事堂がフレームに収まったように見ることができます。 **MAP 2**
- 03** 江戸薫る石垣と近代風景 **桜田門周辺からのビル群**



桜田門をくぐって広場に向かう途中、石垣越しに、オフィス街の景色を望むことができます。江戸情緒と近代風景が楽しめます。 **MAP 3**
- 04** ビルの合間から輝くタワー **祝田橋からの東京タワー**



内堀通りの祝田橋交差点凱旋濠側の路上から、ビルとビルの合間に東京タワーが顔を覗かせています。車に気をつけて見つけよう。 **MAP 4**
- 05** 美しいライトアップを堪能 **皇居前広場からのビル群夜景**



皇居前広場から丸の内方面を眺めると一面にオフィス街の夜景が広がり、息を飲む美しさです。静かな広場を散歩しながら夜景鑑賞を。 **MAP 5**
- 06** 歴史的建造物が水面に映える **旧第一生命館(DNタワー-21)とお濠**



1938(昭和13)年に竣工し、第一生命保険本社として現在まで利用されていますが、戦後の一時期は、GHQ本部として利用されていました。 **MAP 6**



おもな移動時間(目安)

- 二重橋 1 大手門 4 徒歩約15分
- 大手門 4 北桔橋門 7 徒歩約10分
- 北桔橋門 7 田安門 徒歩約10分

外周はおおよそ5km

無料巡回バス
 毎日/8:00~20:00まで、約12~15分間隔で運行しています。
新丸ビル…郵船ビル…丸の内マイプラザ
 ……東京會館…第一生命…新丸ビル

- 07** 東京駅を正面から撮影できる **行幸通りからの東京駅**



行幸通りの和田倉門交差点から、いちよう並木の中央に立つ、レンガ造りの東京駅が望めます。 **MAP 7**
- 08** 3つの名所を一度に撮れる **巽橋・富士見櫓と桔梗門**



内堀通りと行幸通りの交差点の交番横から、お濠沿いに巽橋、桔梗門、富士見櫓が見られます。 **MAP 8**
- 09** シルエットの妙が美しい **お濠に映るビル群**



お濠の水面にくっきり映り込むビル街のシルエット。晴れた日ほど、キレイな映り込みが撮影できます。 **MAP 9**
- 10** 力強く立つ大いちょう **震災いちよう**



関東大震災で焼け野原になった東京で、このいちようだけが奇跡的に残ったといえます。 **MAP 10**
- 11** 美しいフォルムの木橋 **平川橋とお濠**



太鼓型の橋の美しいシルエットと、背景の近代的なビルが時代を超えた風景を醸し出しています。 **MAP 11**
- 12** 江戸時代のまま残る水門 **清水門水門**



清水門の手前にある橋の下に水門が見られます。江戸時代のまま現存する、珍しい石垣式の水門です。 **MAP 12**
- 13** 江戸時代の石階段が現存 **清水門雁木坂**



城跡内で唯一、江戸時代のままの雁木坂が残されています。高さや幅のある階段が特徴です。 **MAP 13**
- 14** 田安門を見下ろすスポット **昭和天皇野立所からの田安門**



田安門脇の階段を上ると、「天皇陛下野立所」[弥生慰霊堂]があり、ここから田安門の全景が見られます。 **MAP 14**
- 15** 都心にある癒しスポット **北の丸公園の滝**



北の丸公園内、怡和園の碑から少し下ったところにある滝。林の中で滝の水音に癒されます。 **MAP 15**
- 16** 唯一残る土手道 **代官町通り上の土手**



半蔵門に向かって代官町通りの右側を歩くと、小高い土手の上に歩道があり千鳥ヶ淵を眺められます。 **MAP 16**